

# パーフェクトな意思決定

安藤広大 (著)

単行本：336 ページ

出版社：ダイヤモンド社

価格：1,980 円 (税込)

## はじめに

本書は、ビジネスシーンはもちろんのこと、日常生活においても重要となる「決める力」を鍛えるための方法を解説しています。多くの方が、決断を先延ばしにするために「検討します」という言葉を用いることに対し、筆者は警鐘を鳴らしています。これは、思っている以上に大きな機会損失を生み出している可能性があるからです。追求すべき「パーフェクトな意思決定」とはどのようなものなのでしょうか。

## 「検討します」の罠

「検討します」という言葉は、一見、相手に丁寧な印象を与えますが、実際には決断を回避しているだけに過ぎません。保留している間、状況は何も変わらず、むしろ悪化していくケースも少なくありません。筆者は「検討します」という言葉を「全裸より恥ずかしい」と強い表現で批判し、即決の大切さを説いています。たとえ不確実な要素が多くても、まずは自ら決断を下し、その後の軌道修正を恐れないことが重要だといえます。

即決する勇気を持つことで、次の行動が見えてくるため、ビジネスパーソンとしての成長が加速します。決断をためらうことで失うものは多く、決めてからこそ進めるという考え方が印象的です。

## 水のようにしなやかな意思決定

筆者が提案する意思決定の姿勢は「水のようにしなやかであること」です。ビジネスの世界では、一度決めたことを貫く意思も重要ですが、それ以上に状況に応じて軌道修正できるしなやかさが大切だと説明しています。硬い石のような意思決定にこだわるのではなく、周囲の変化に応じて最適な判断を選び取る能力が重要です。どのような困難な場面でも、自分の意思をしっかりと持ちながら、状況に応じて決断を調整していくことで、より良い結果が得られるといえます。この「柔軟さを持った決断

力」が、多くの場面で役立つといえるでしょう。

## 意思決定を加速させる「3つの箱」

本書では意思決定を効率化し、迅速に進めるためのツールとして「3つの箱」の活用を推奨しています。

### 1. 即決の箱

十分な情報があり、選択肢が明確な場合は、迷わず「即決の箱」に入れて、迅速に決断しましょう。

### 2. 情報不足の箱

意思決定に必要な情報が不足している場合は、「情報不足の箱」に入れて、必要な情報を集めてから判断しましょう。

### 3. 期限を設定する箱

時間をかけて状況を見極める必要がある場合や、ある程度の結果を見てから判断したい場合は、「期限を設定する箱」に入れて、具体的な期限を設けておきましょう。

## 意思決定を阻害する要因と成長に繋がる選択

意思決定において、感情に流されてしまうことは大きなリスクとなります。特に、怒りや焦りを感じているときは、冷静さを欠き、誤った判断をしてしまう可能性が高まります。本書では意思決定時に「感情を認識する」「感情の原因を探る」「客観的な視点を持つ」という手法が紹介されています。

意思決定にはリスクがつきものですが、そのリスクを前向きに受け入れることで長期的な成長に繋がると筆者は強調しています。失敗を恐れず、むしろ成長の糧とする姿勢は不確実さと情報が溢れる現代において必要なスキルだともいえるでしょう。